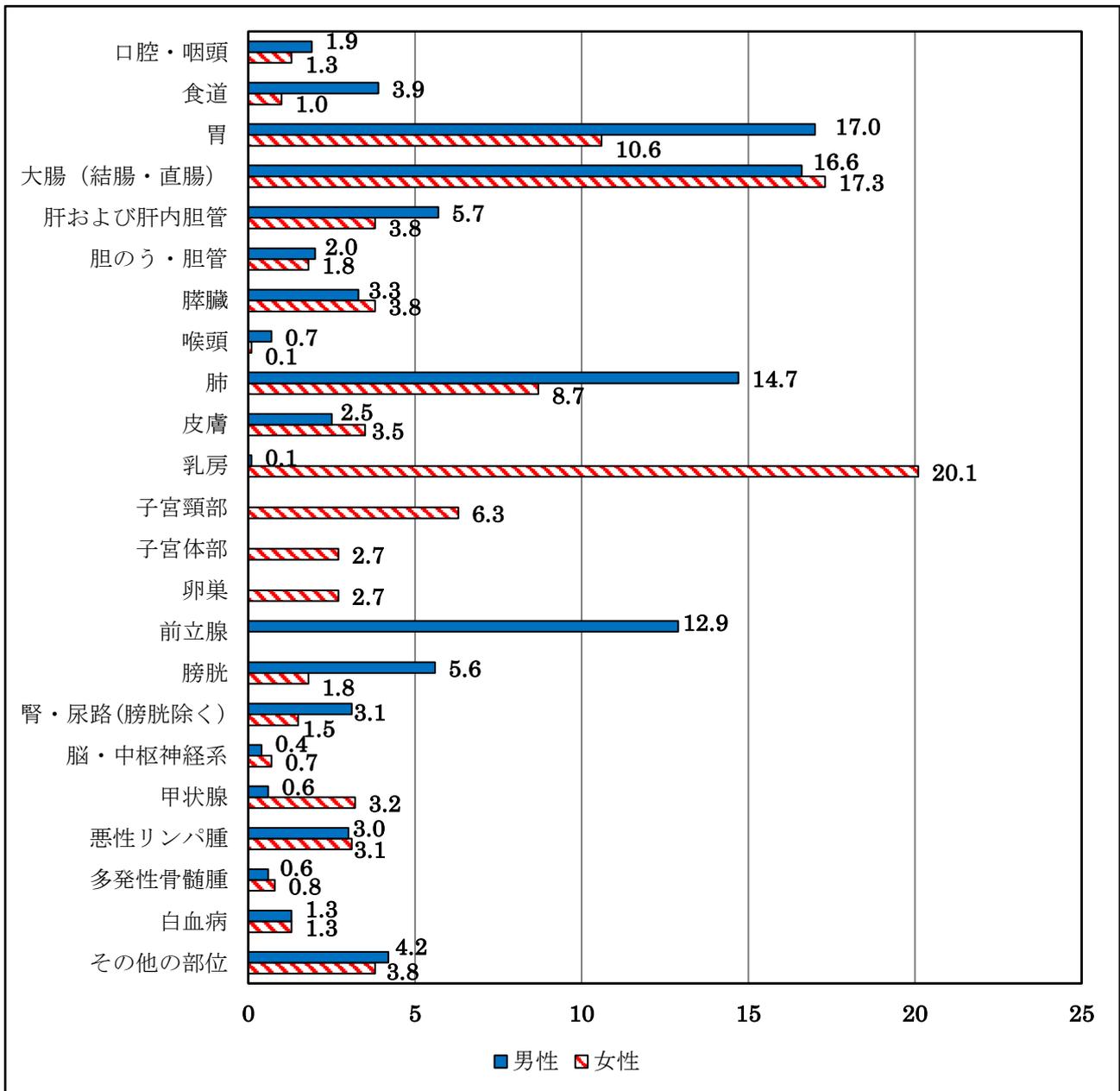


罹患割合(%)：部位別・性別

男性の罹患割合で最も多いのが、胃がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、肺がん、前立腺がんである。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、胃がん、肺がんと続く。

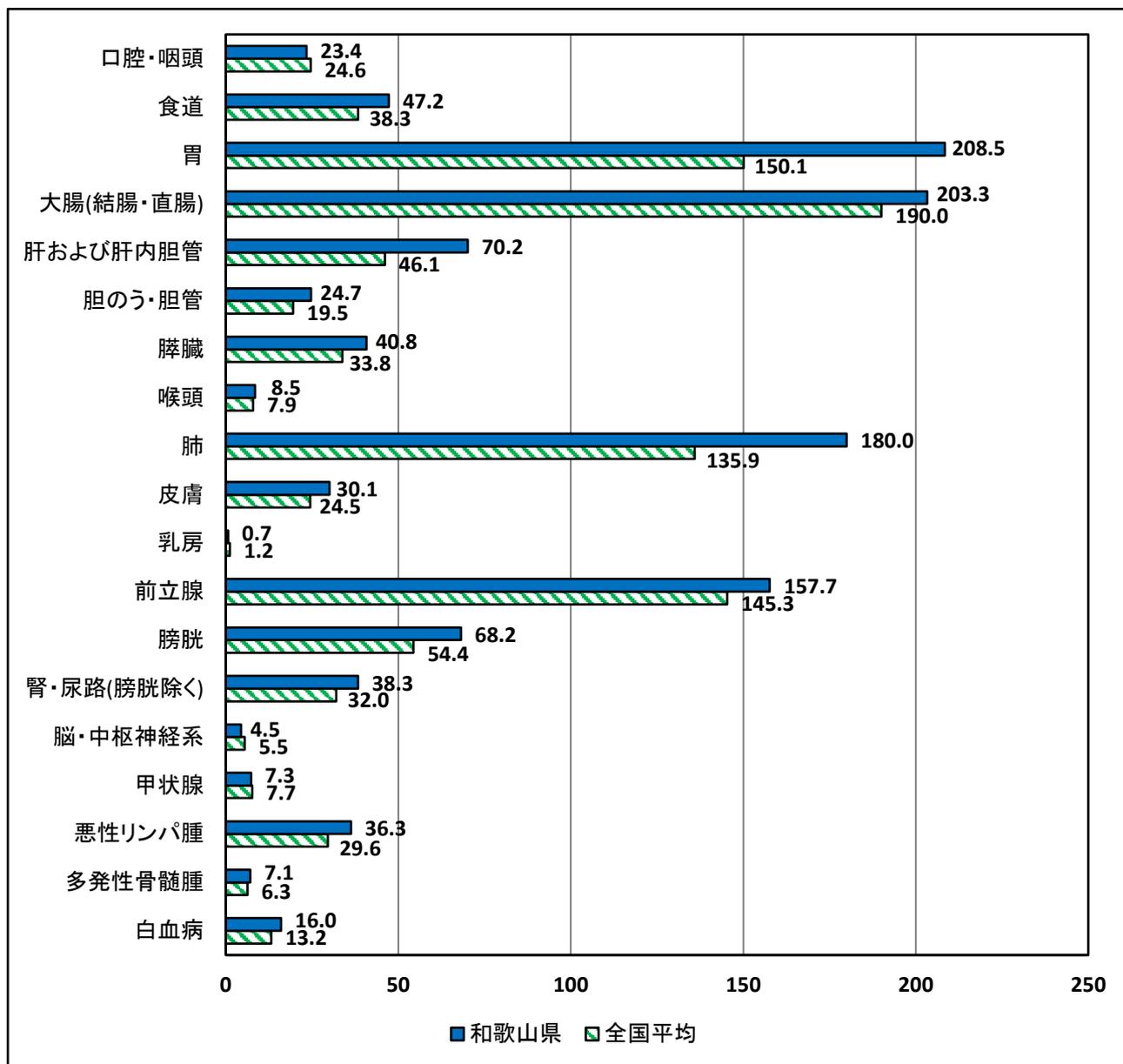


※ 大腸の内訳：（男性）結腸 10.8、直腸 5.8 （女性）結腸 12.4、直腸 4.9

※ 標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

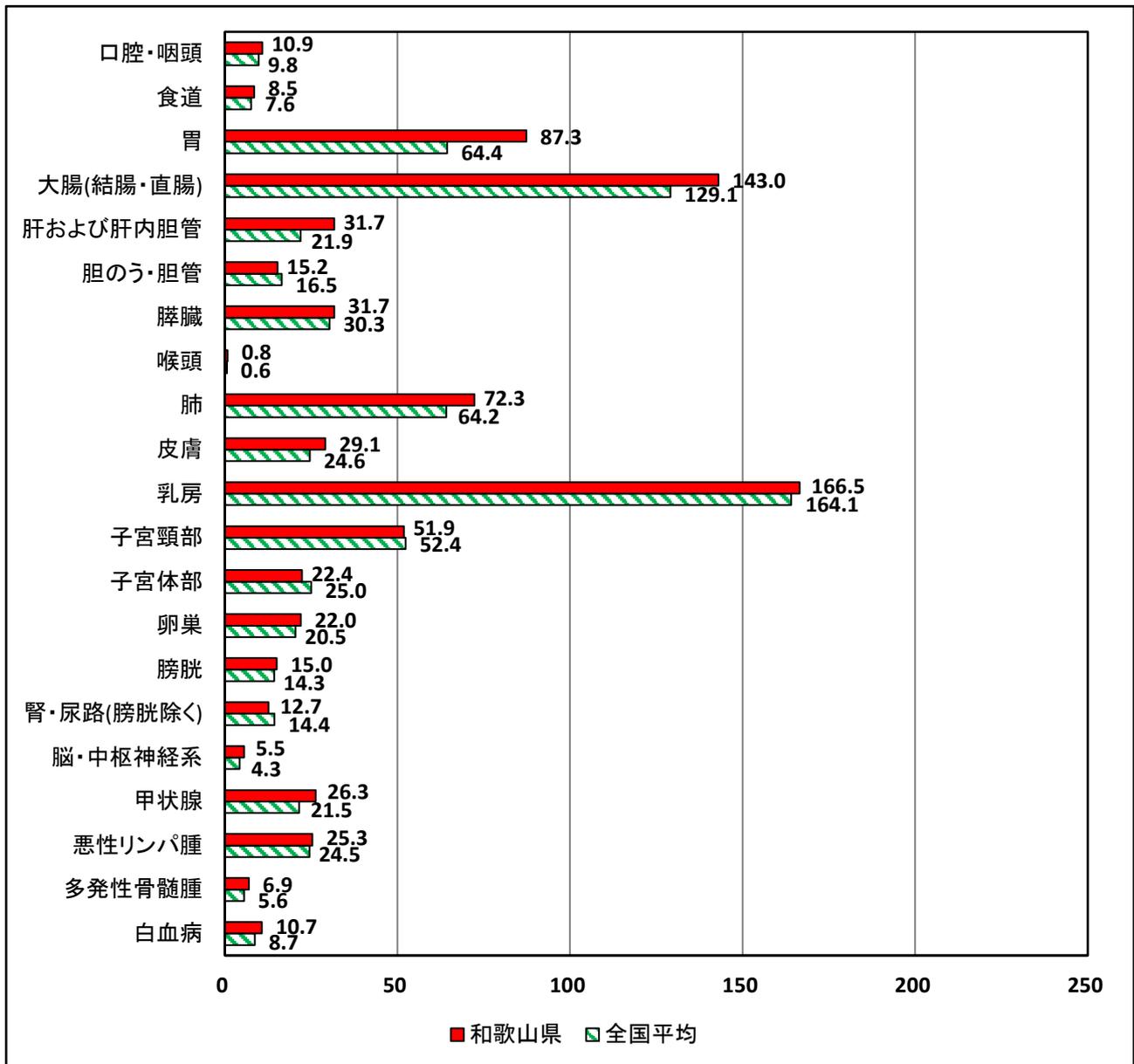
全国平均との比較で見ると、男性では多くの部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、肝および肝内胆管がん、肺がんなどが高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

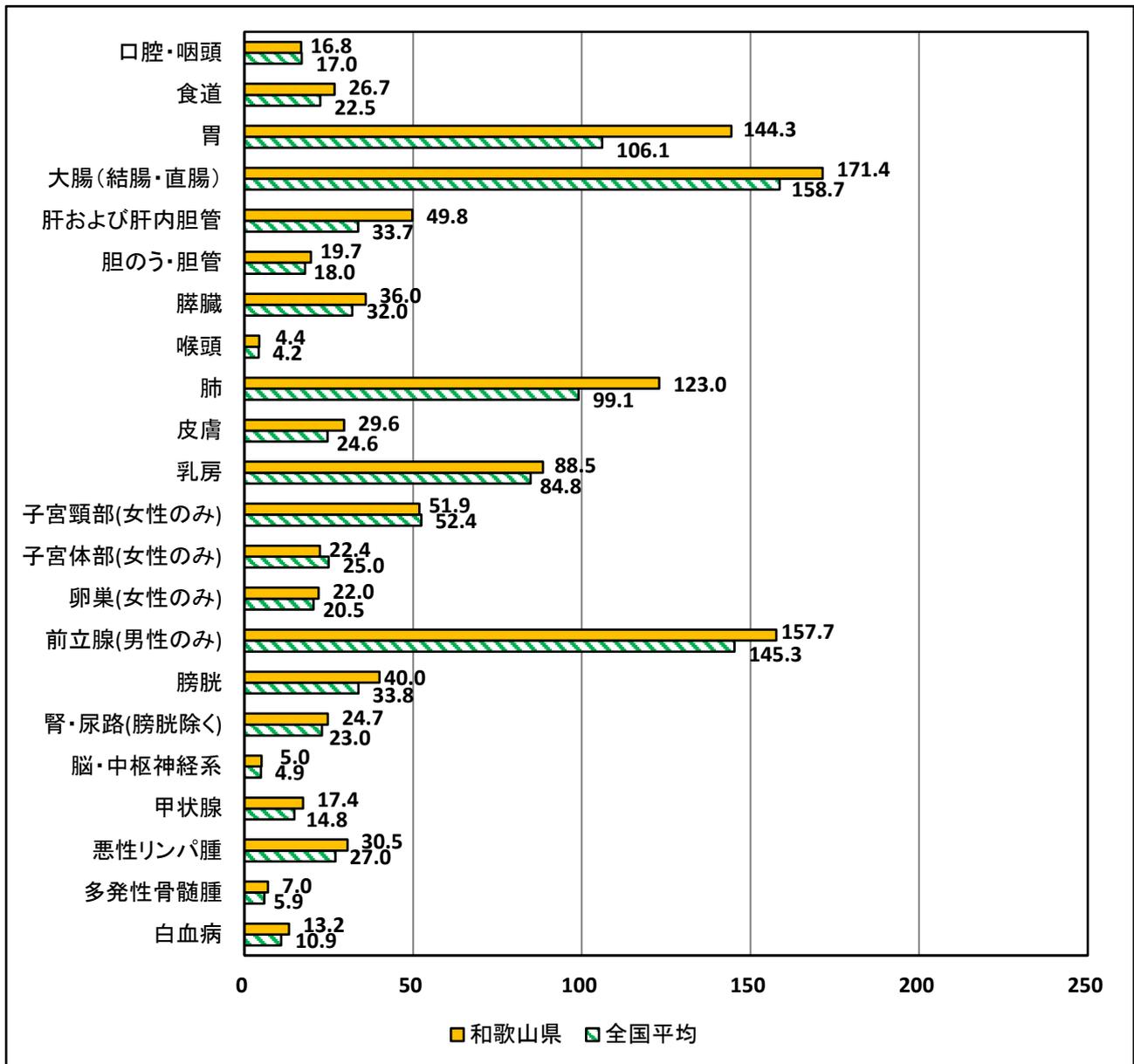
全国平均との比較でみると、女性でも多くの部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肺がんなどが高くなっている。また、子宮頸部がん、子宮体部がんなどは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

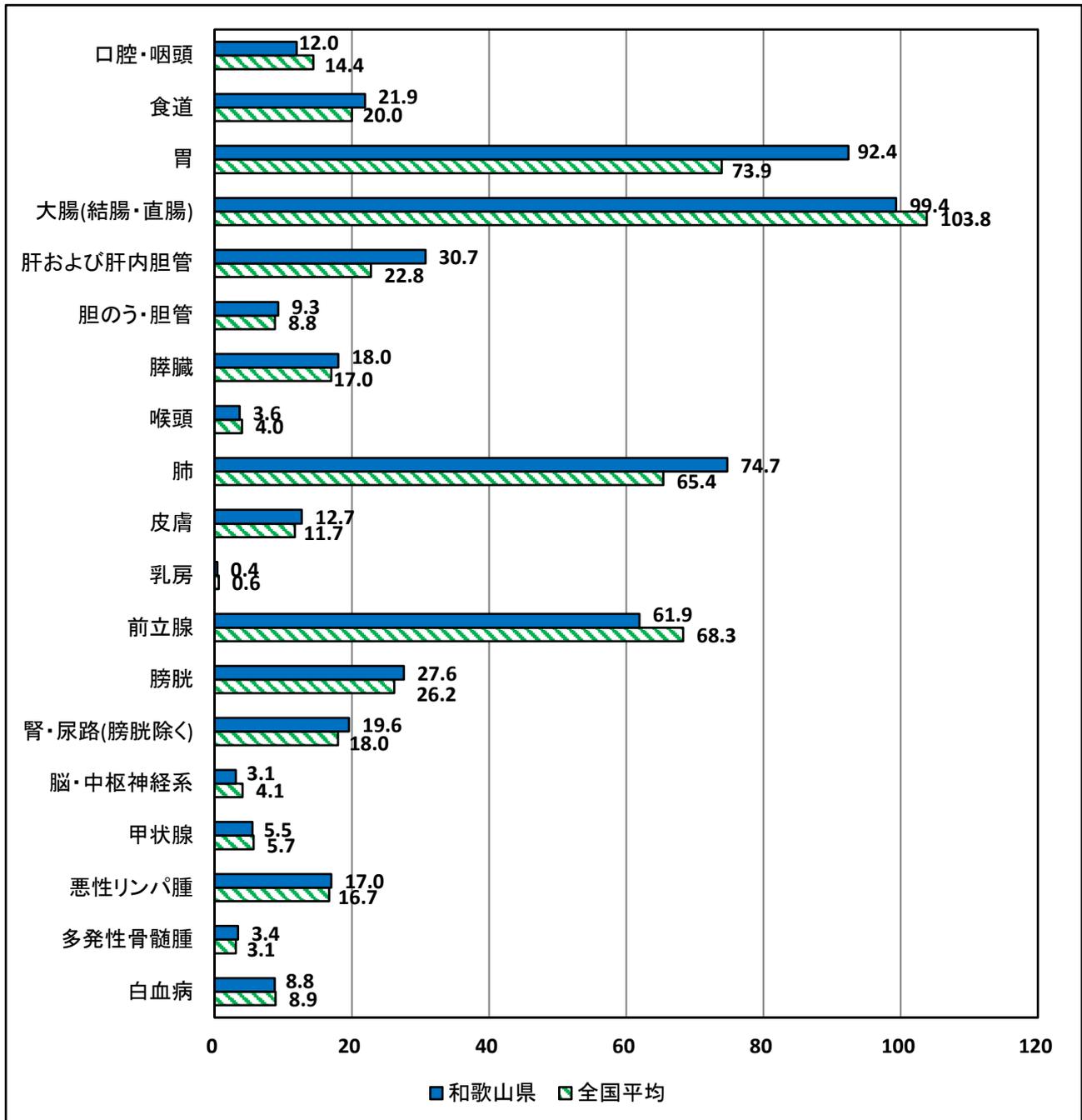
全国平均との比較で見ると、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんなどで、全国平均より高くなっている。また、口腔、咽頭がん、子宮頸部がん、子宮体部がんは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

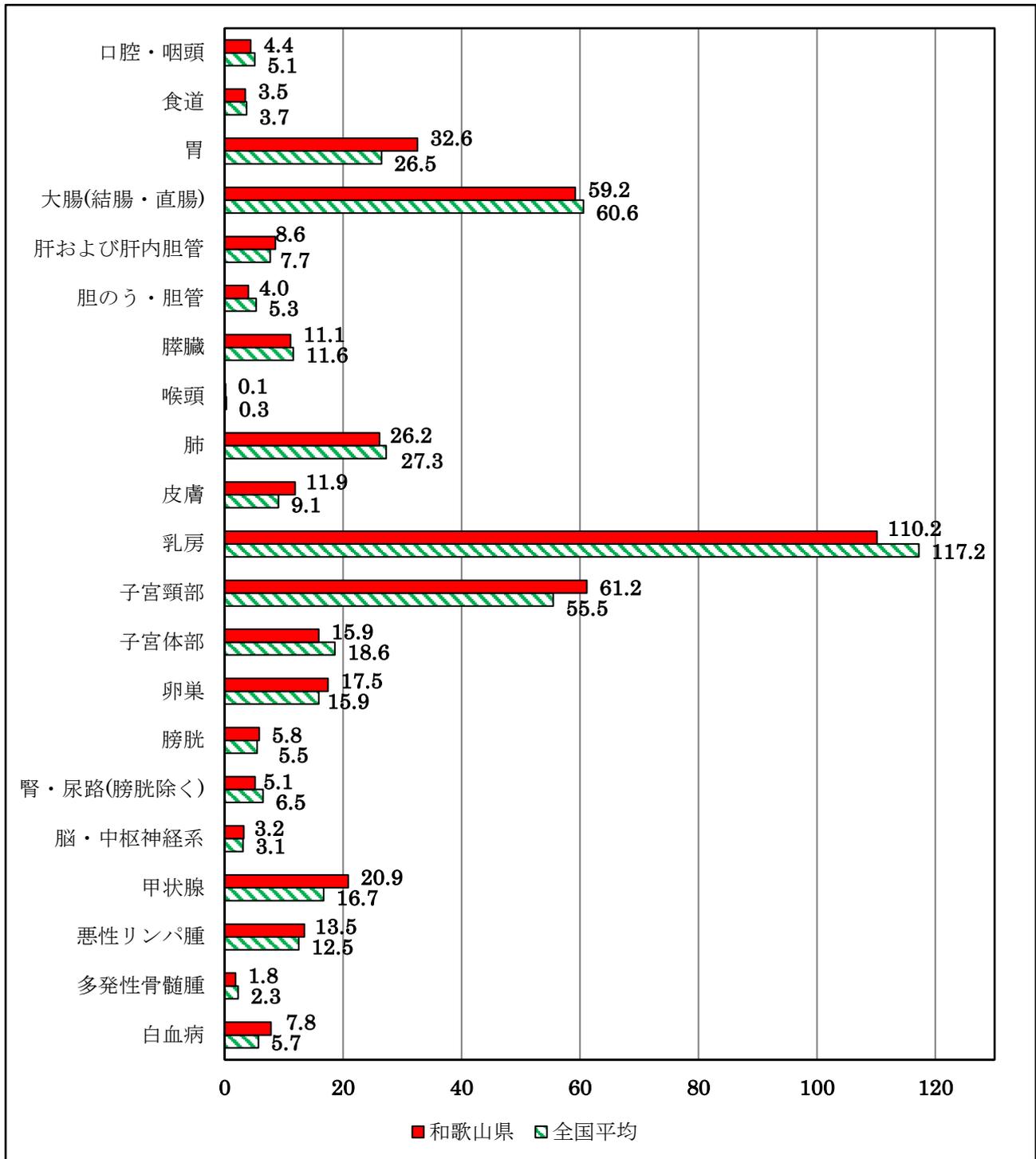
男性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まっているが、胃がん、肝および肝内胆管がん、肺がんは、調整後も全国平均との差は大きくなっている。また、大腸がん（結腸・直腸）、前立腺がんなどは全国平均を下回っている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

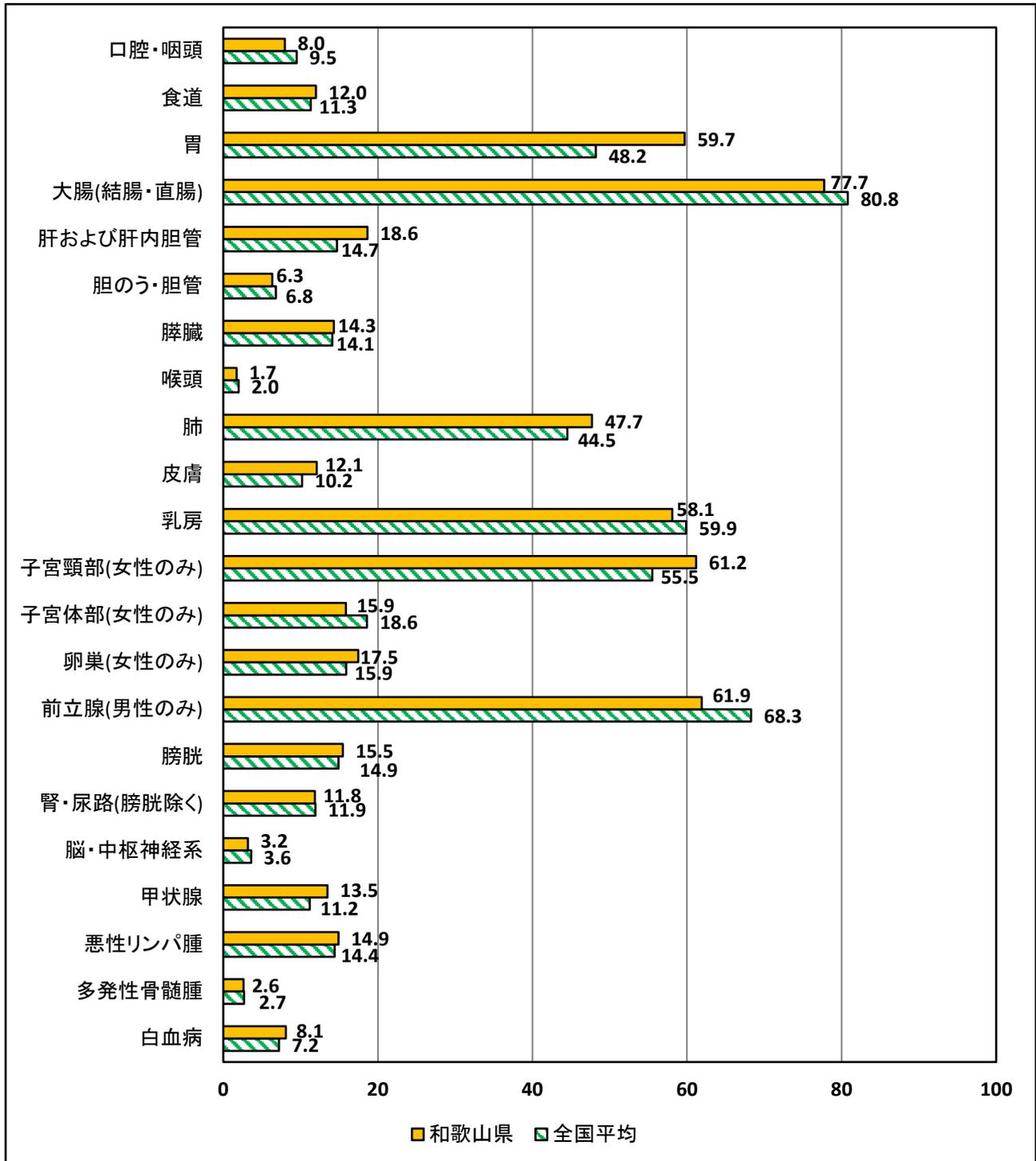
女性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がんや乳がん、肺がんなどは全国平均を下回り、胃がんは全国平均との差が縮まっている。しかし、子宮頸部がんは全国平均を上回っている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がんや乳がんなどは全国平均を下回り、胃がんや肺がん、肝及び肝内胆管がんなどは全国平均との差が縮まっている。

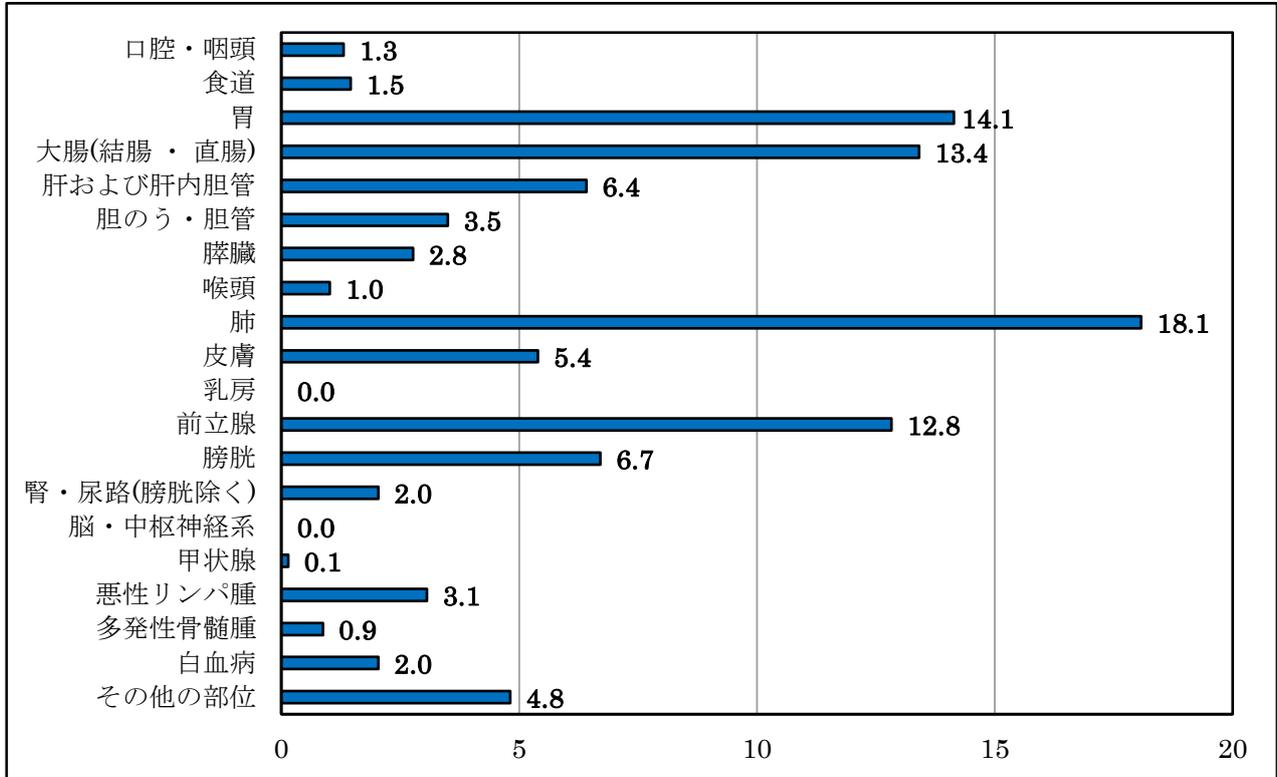


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

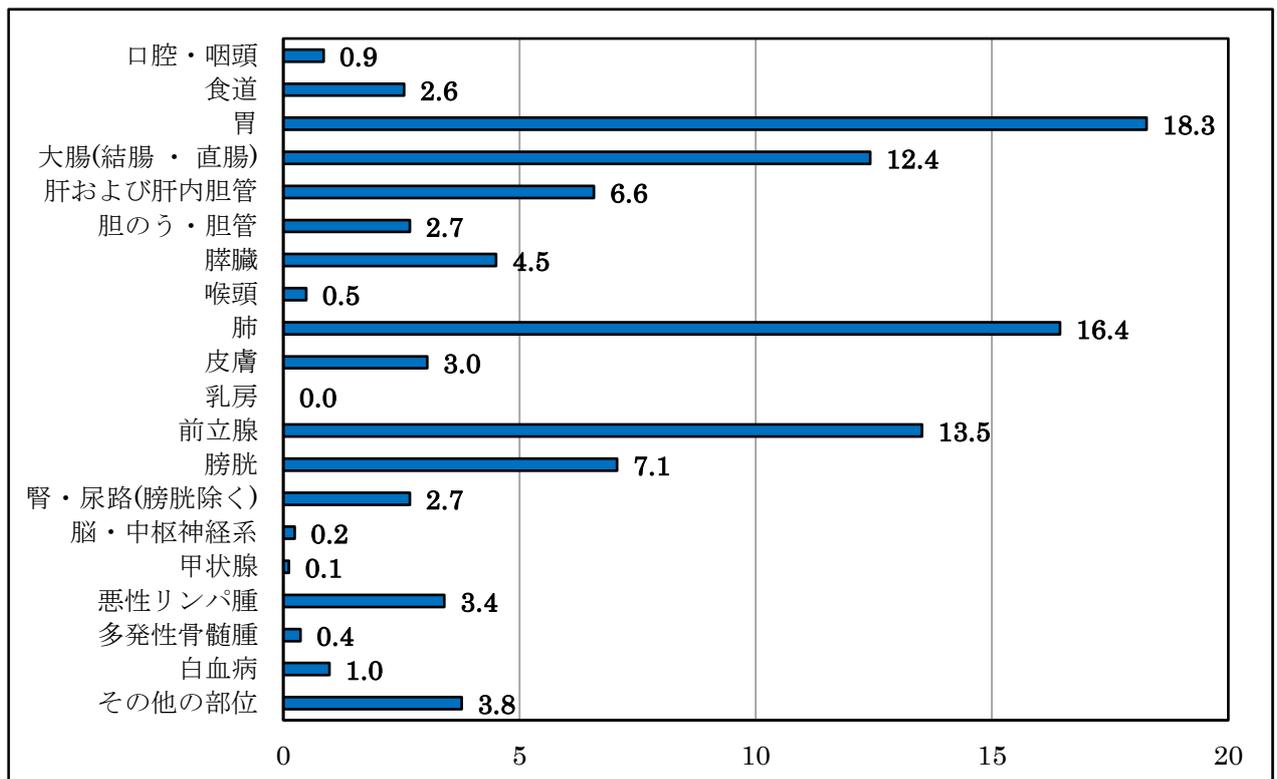
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、肺がん、胃がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高く 80-84 歳では、胃がん、肺がん、前立腺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

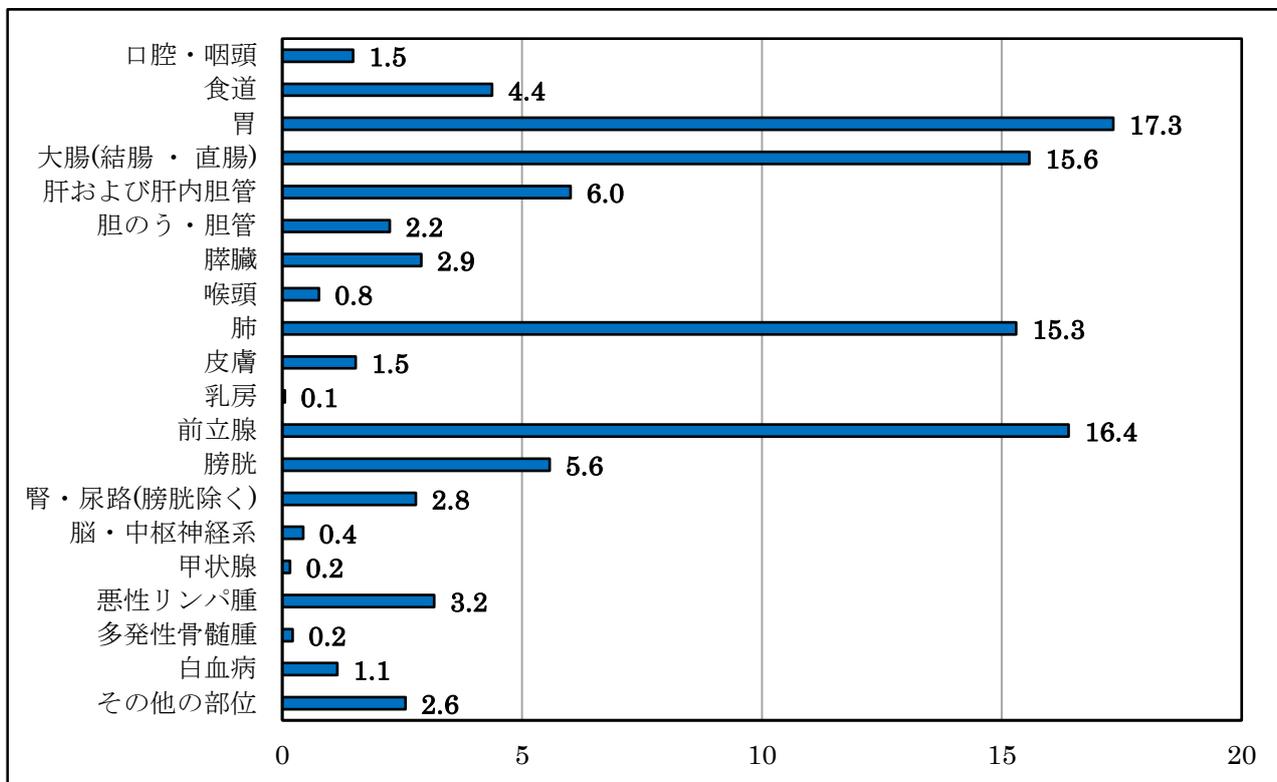


【80-84 歳】

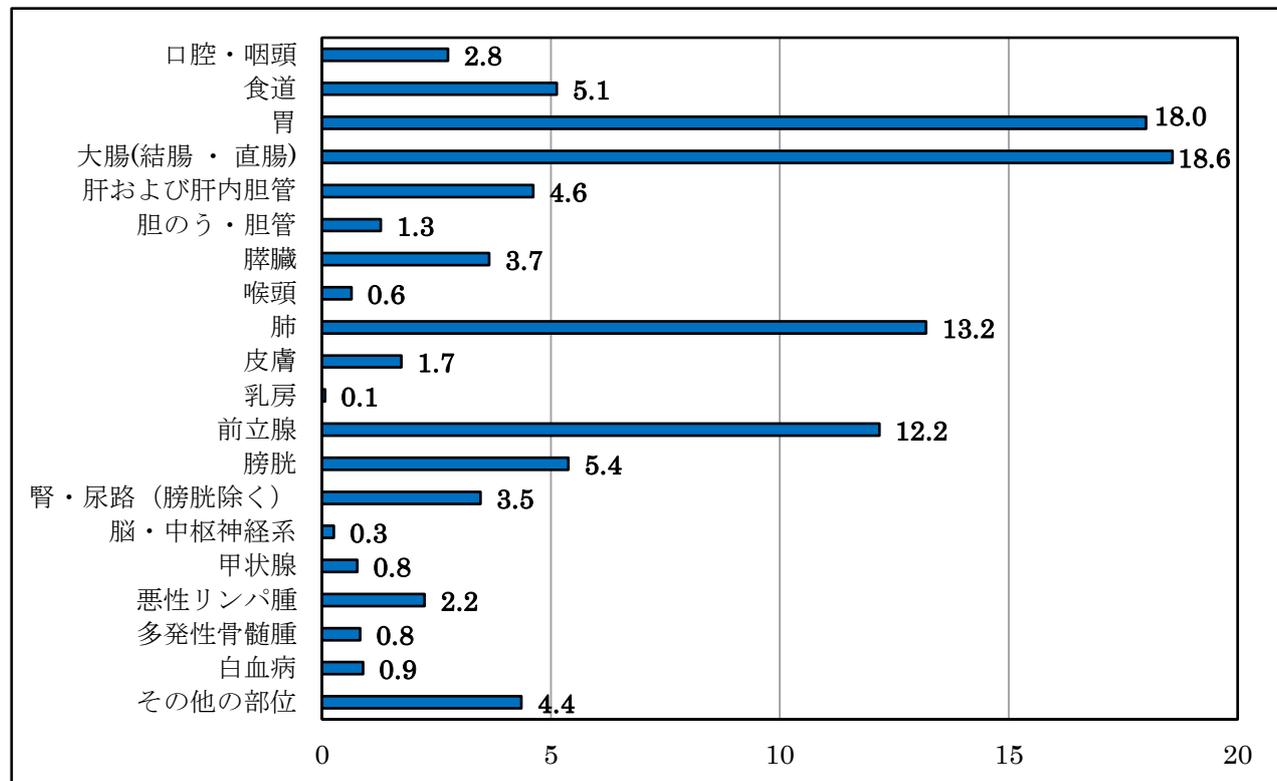


70代では胃がん、前立腺がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高く、60代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【70-79歳】

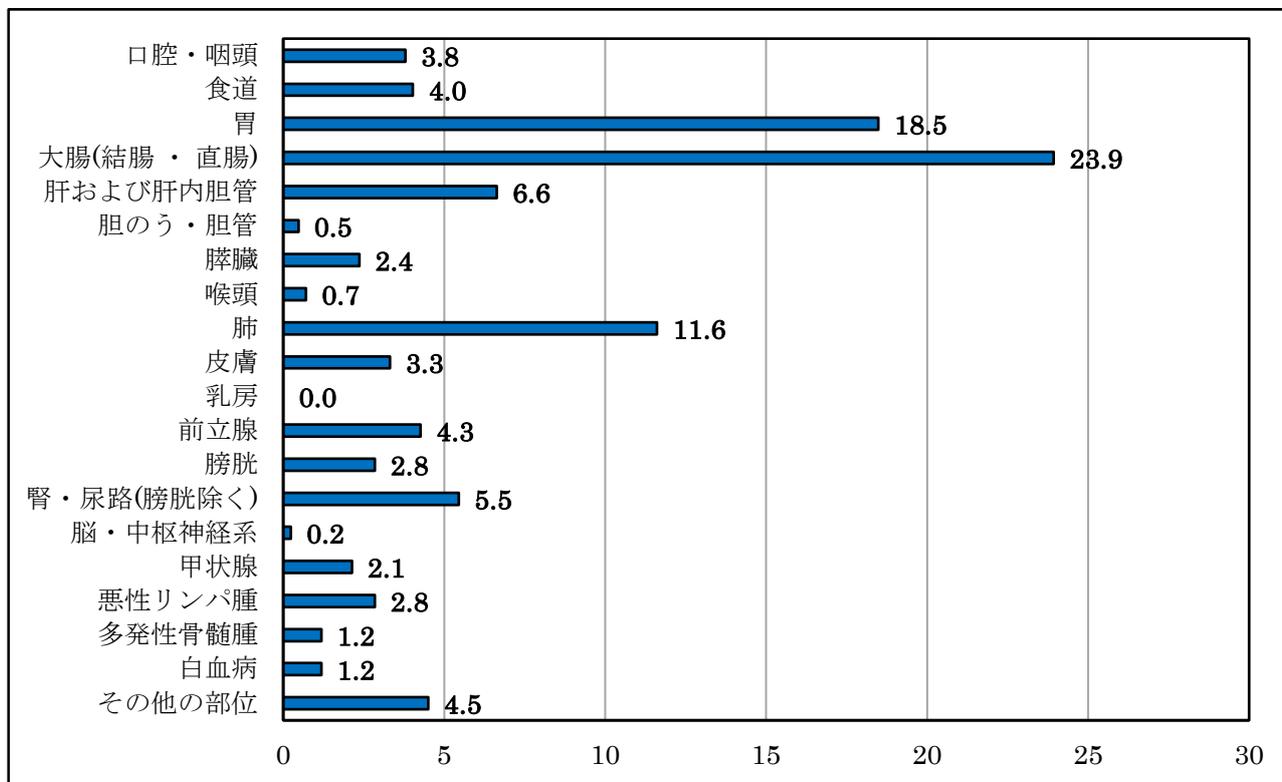


【60-69歳】

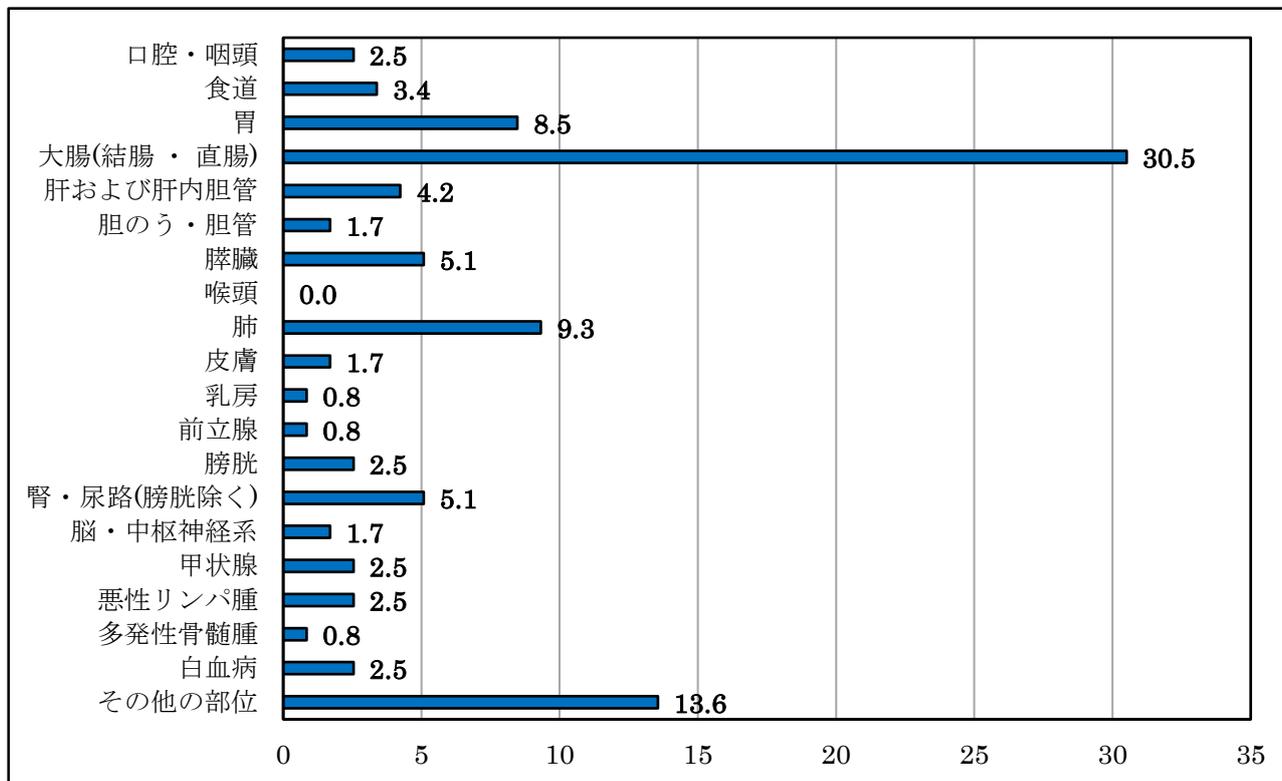


50代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、40代では大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、胃がんの順に高くなっている。

【50-59歳】

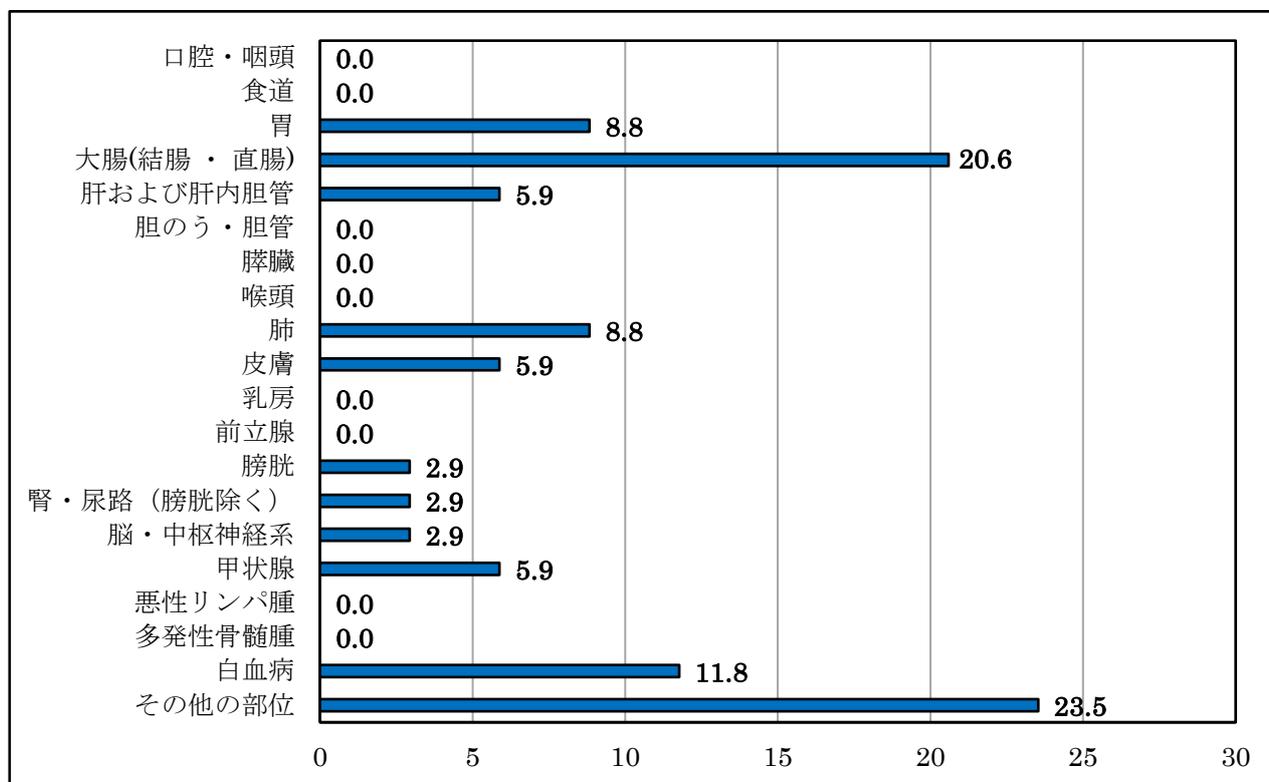


【40-49歳】

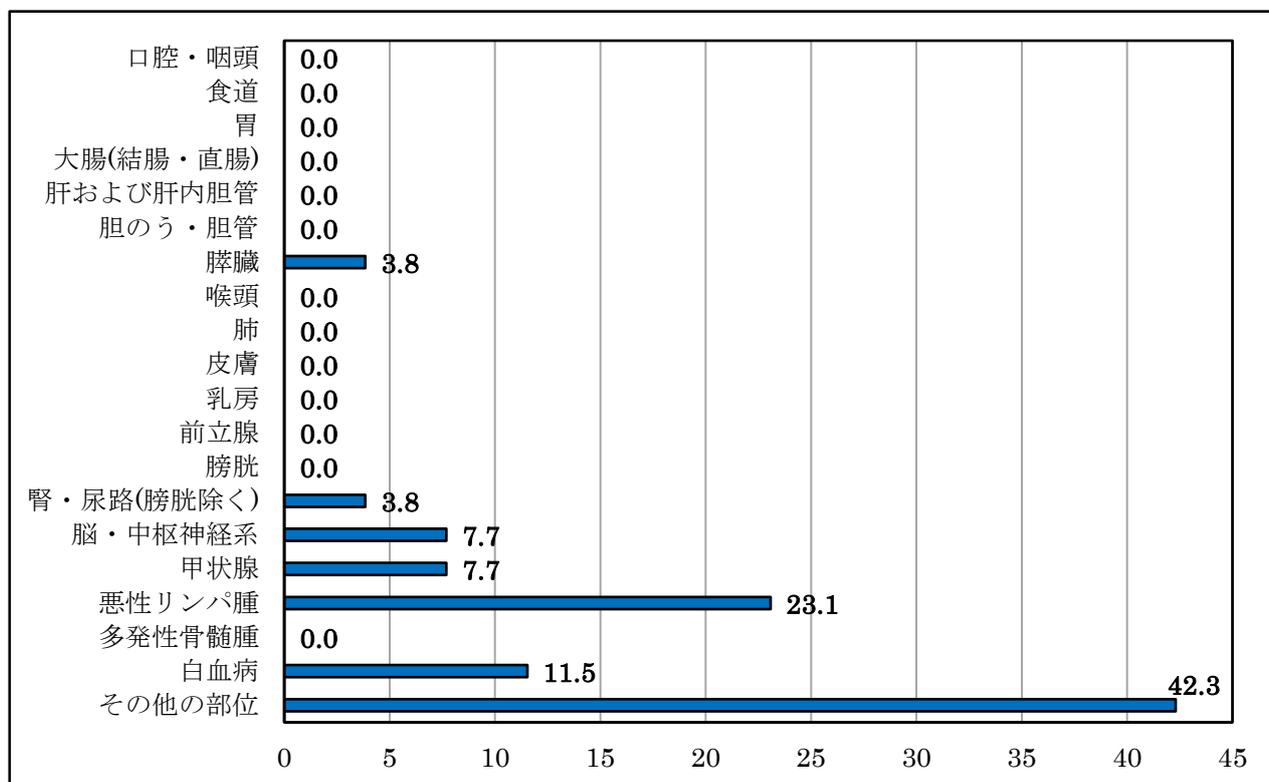


30代では、大腸（結腸・直腸）がん、白血病、胃がん、肺がんの順に高く、20代以下では悪性リンパ腫、白血病の順に高くなっている。

【30-39 歳】



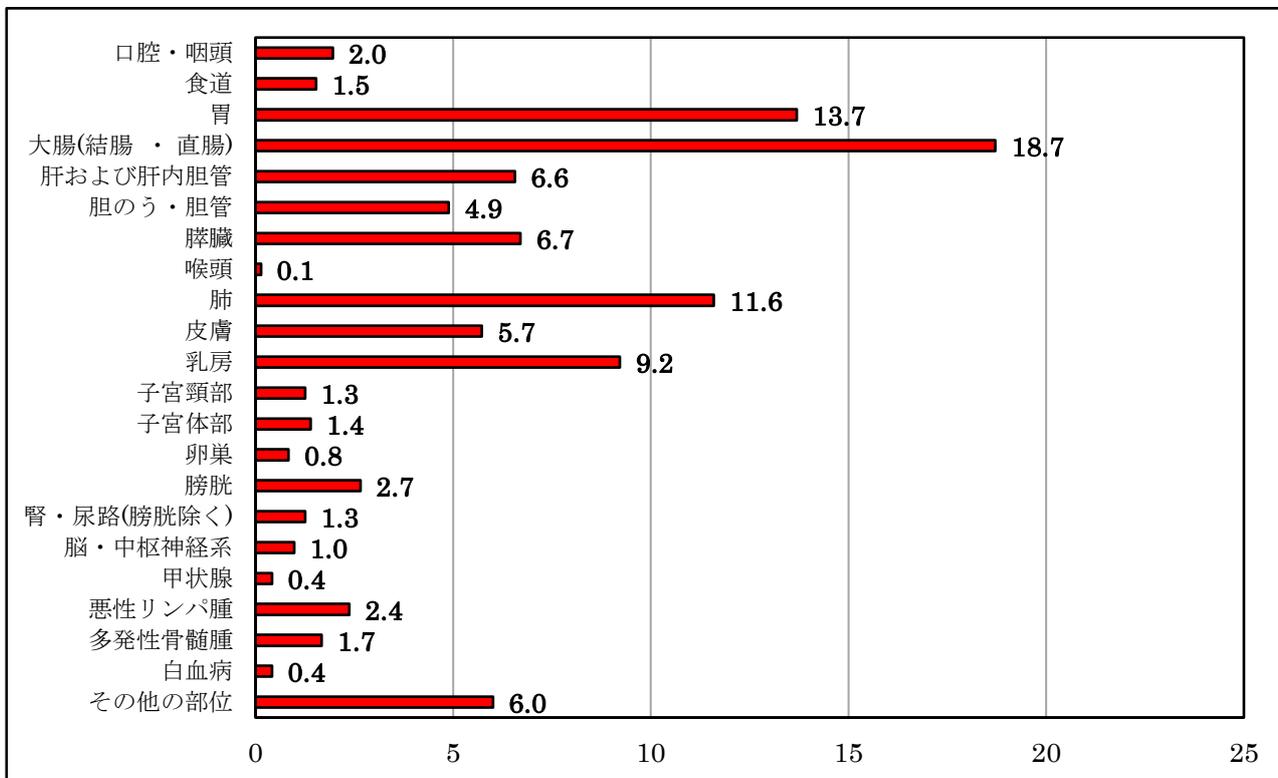
【0-29 歳】



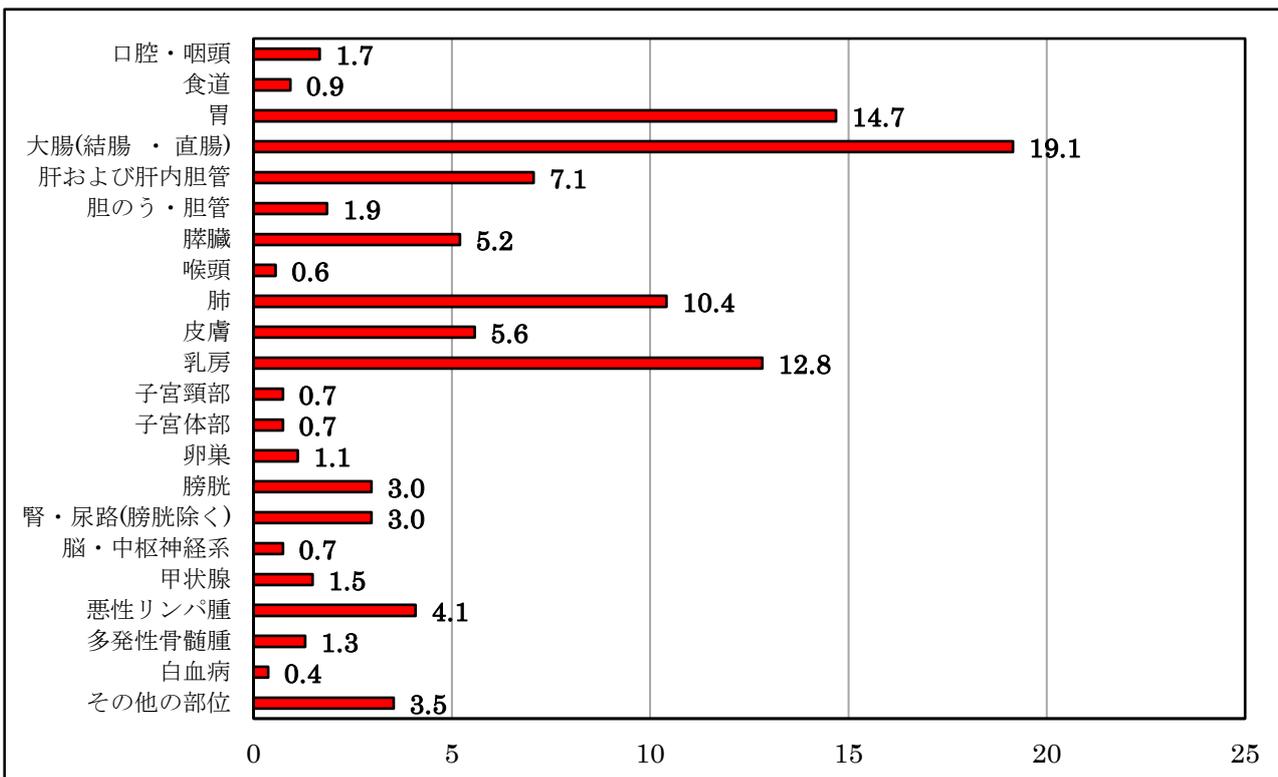
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、80-84歳では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、乳がんの順に高くなっている。

【85歳以上】

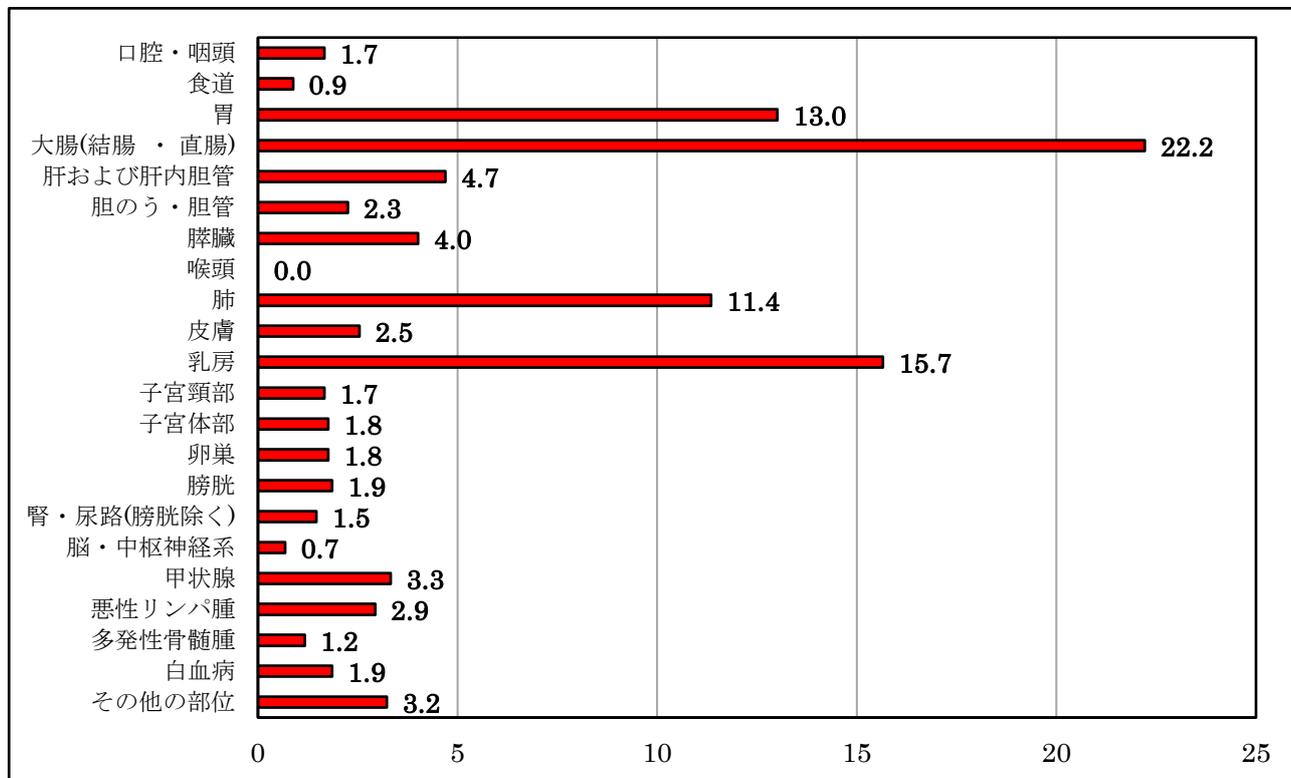


【80-84歳】

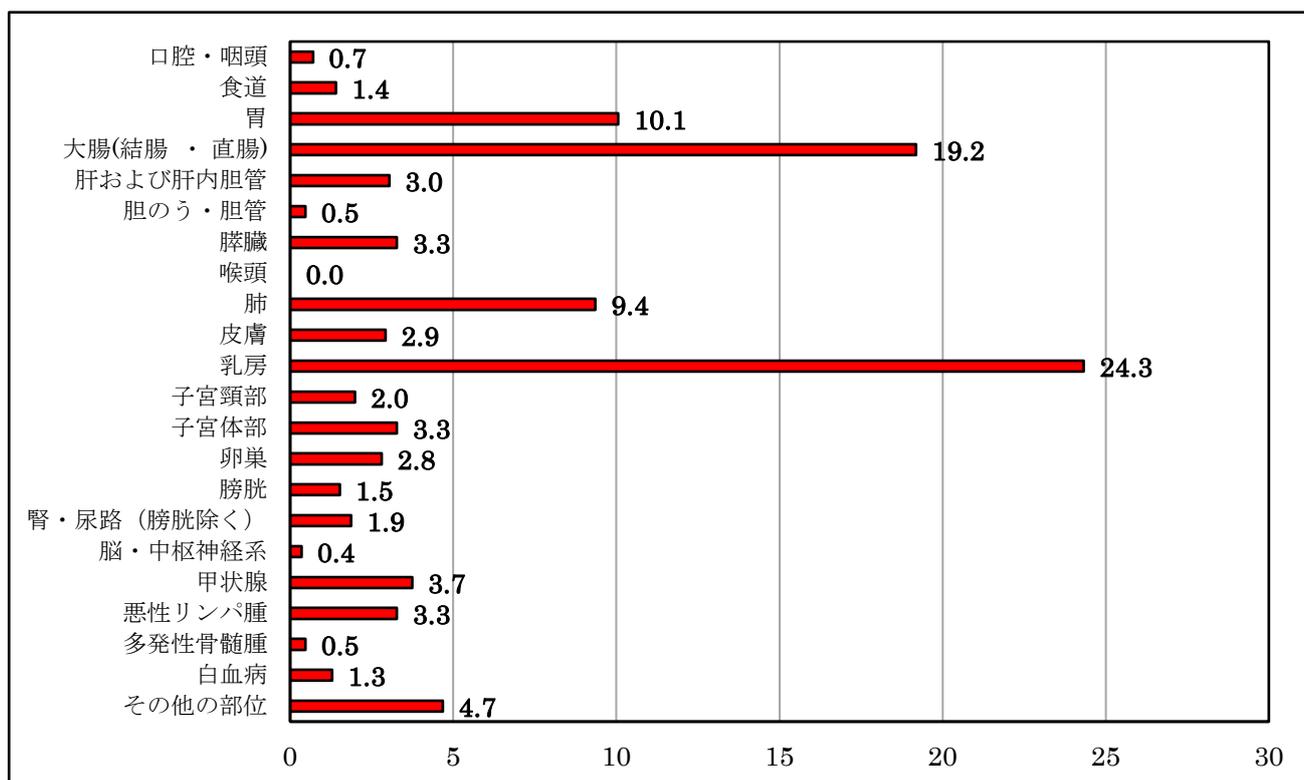


70代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順で高く、60代では乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

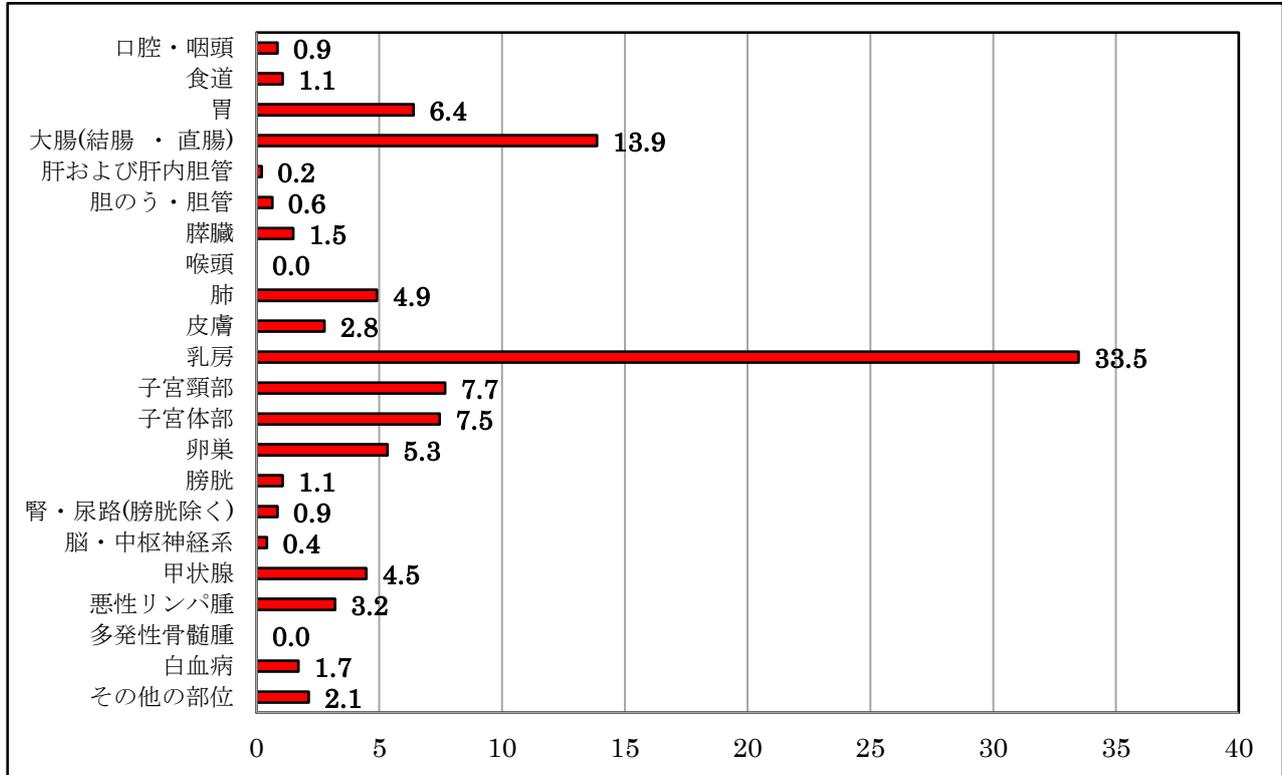


【60-69歳】

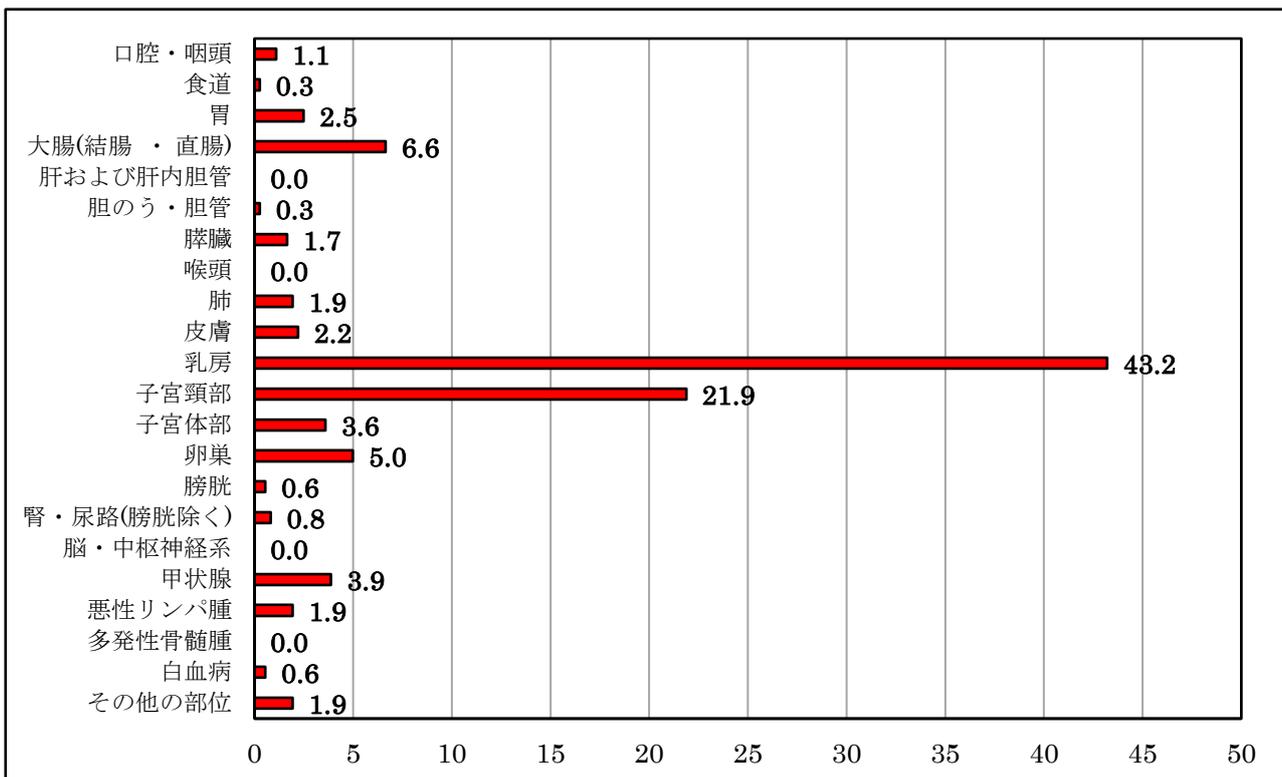


40代から50代になると、乳がんが突出して高くなっており、50代では大腸（結腸・直腸）がん、40代では子宮頸部がんも高い。

【50-59歳】

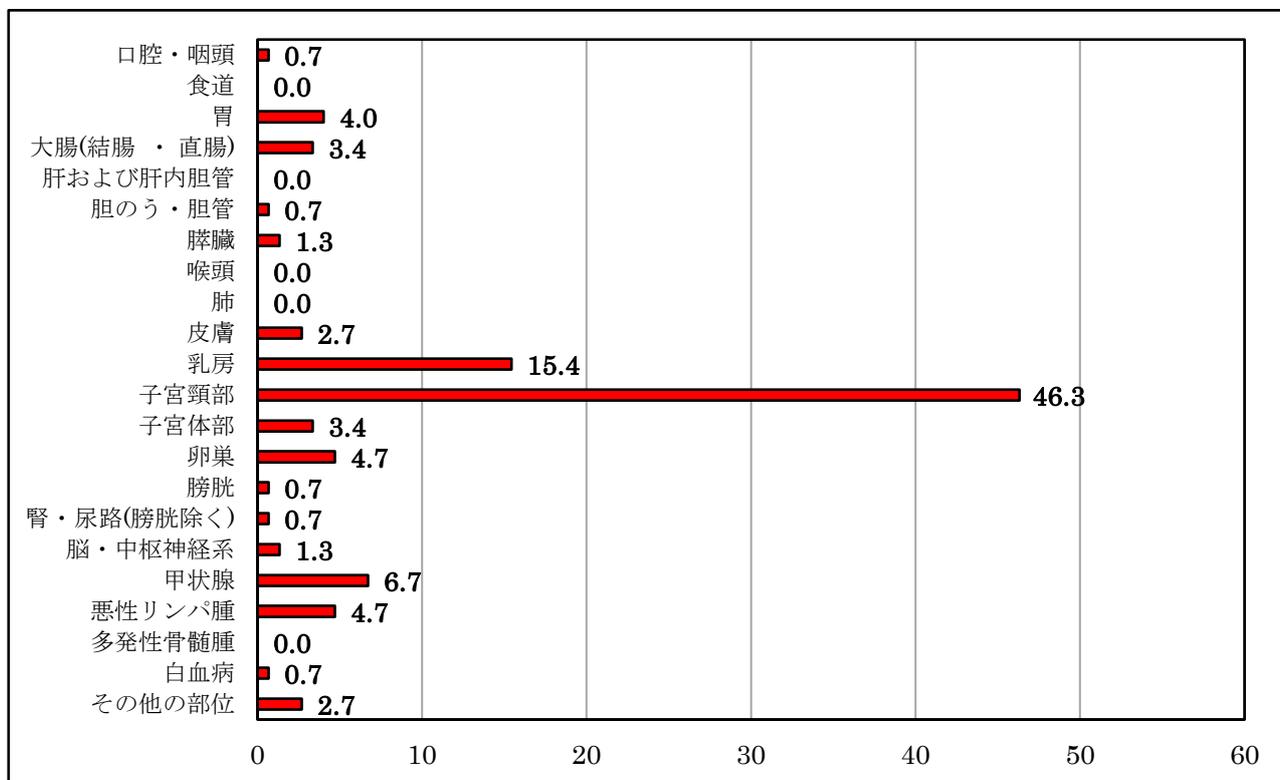


【40-49歳】

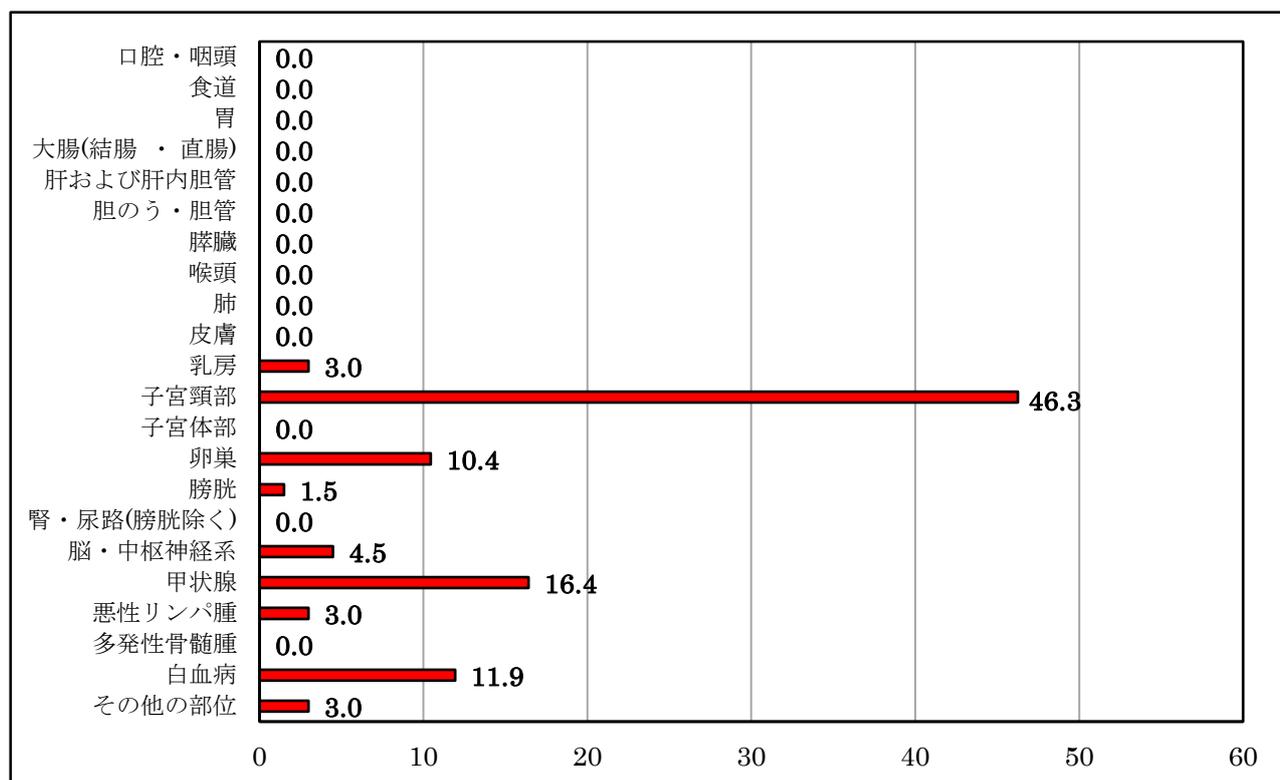


30代と20代以下ともに子宮頸部がんが突出して高く、約5割を占めている。また、30代では乳がん、20代以下では甲状腺がんが子宮頸部がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



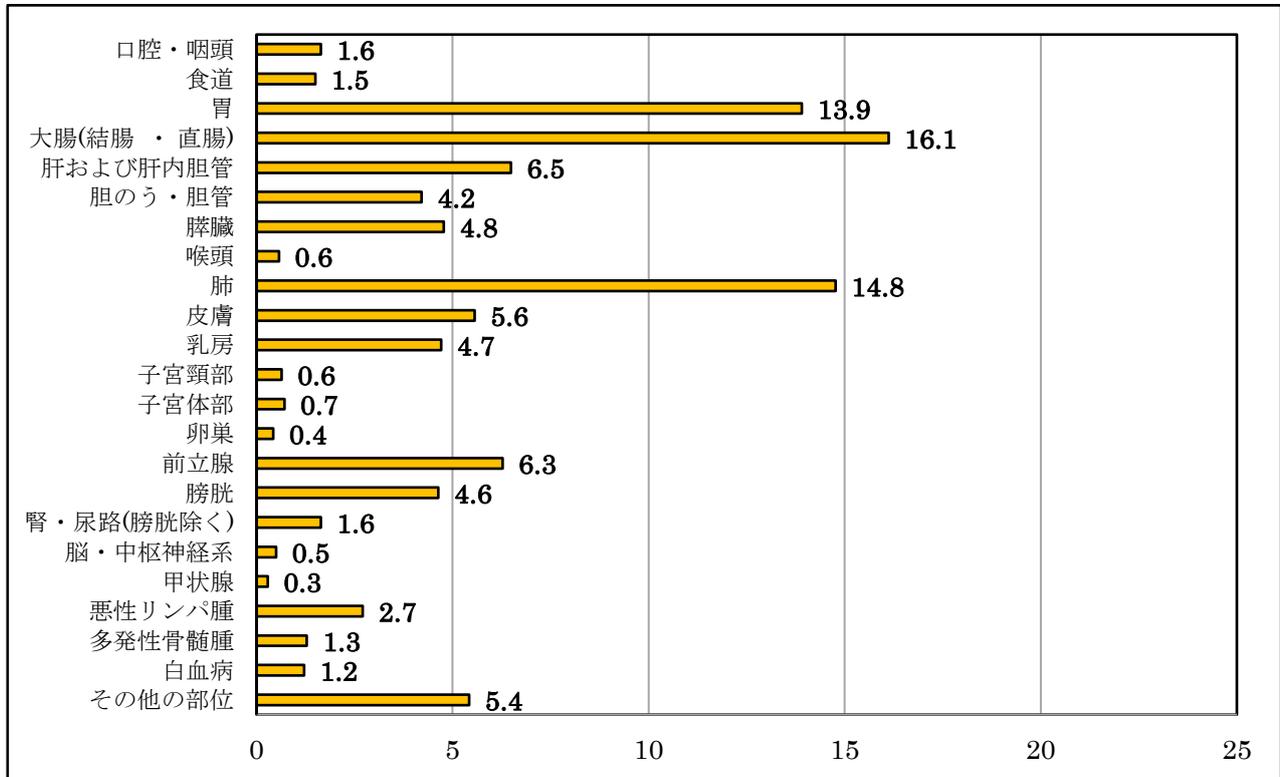
【0-29歳】



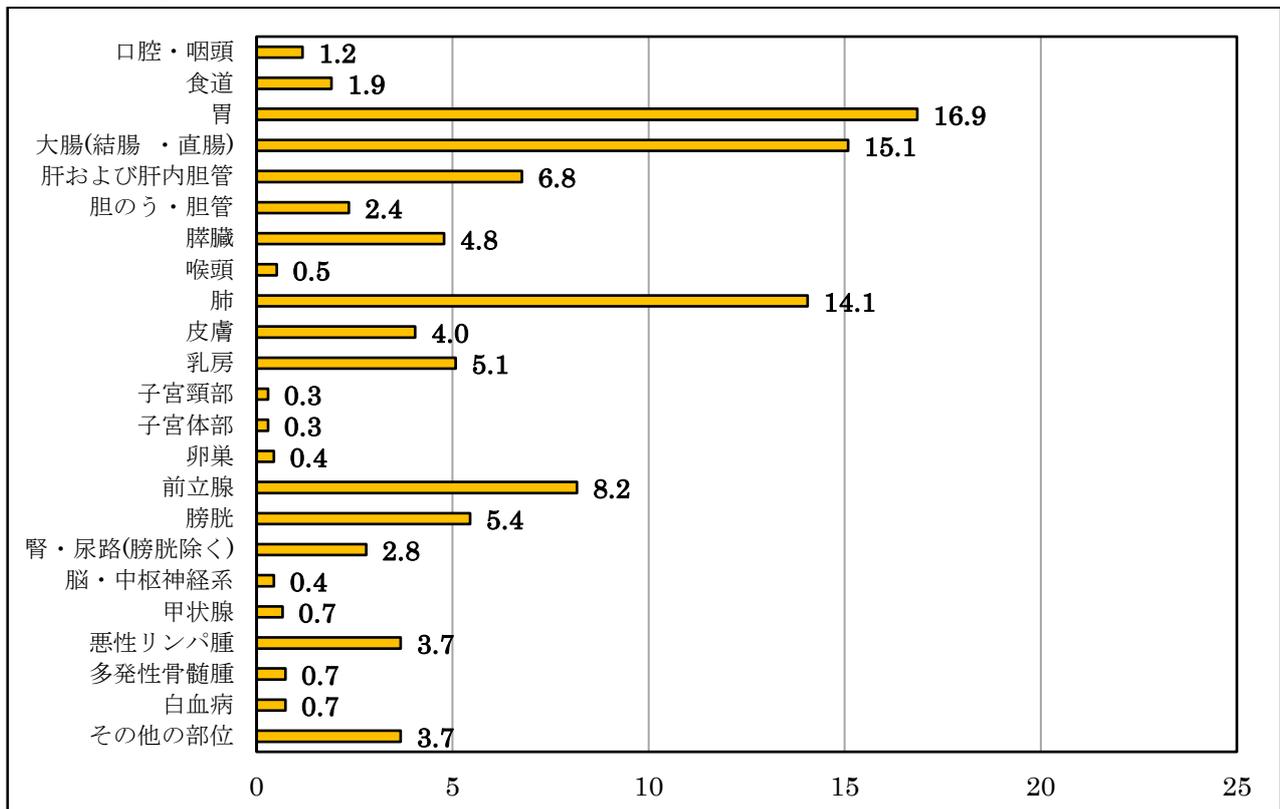
年齢階級別罹患割合(%) : 部位別、性別 (男女計) ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、胃がんの順に高く、80-84 歳では、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

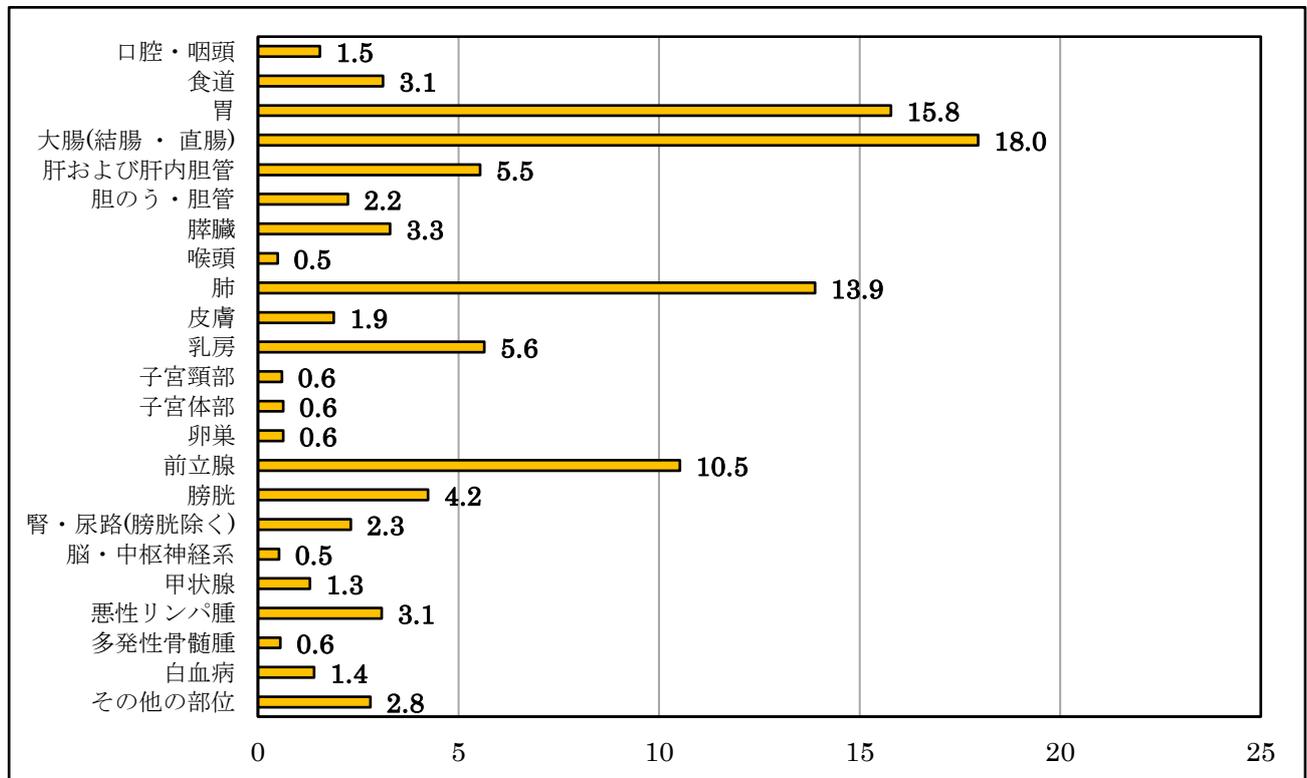


【80-84 歳】

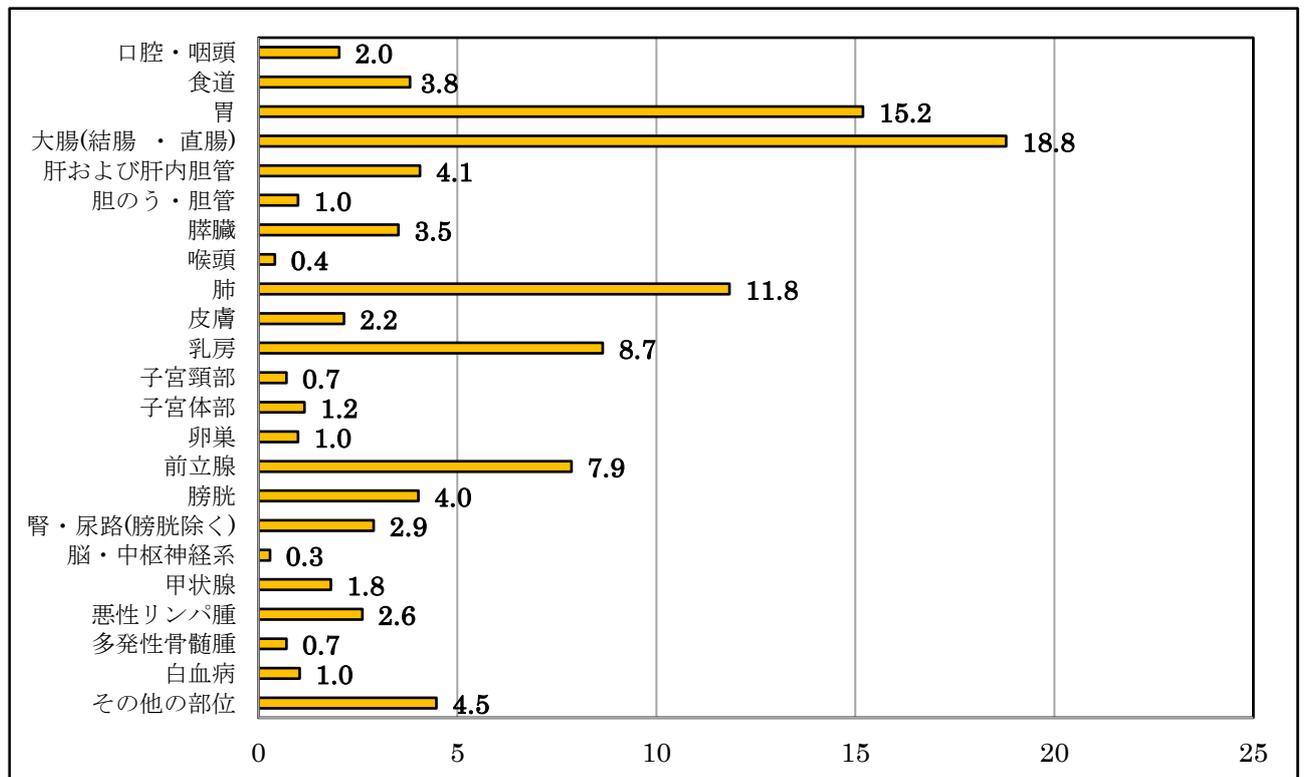


60代及び70代では、両年齢階級ともに、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【70-79歳】

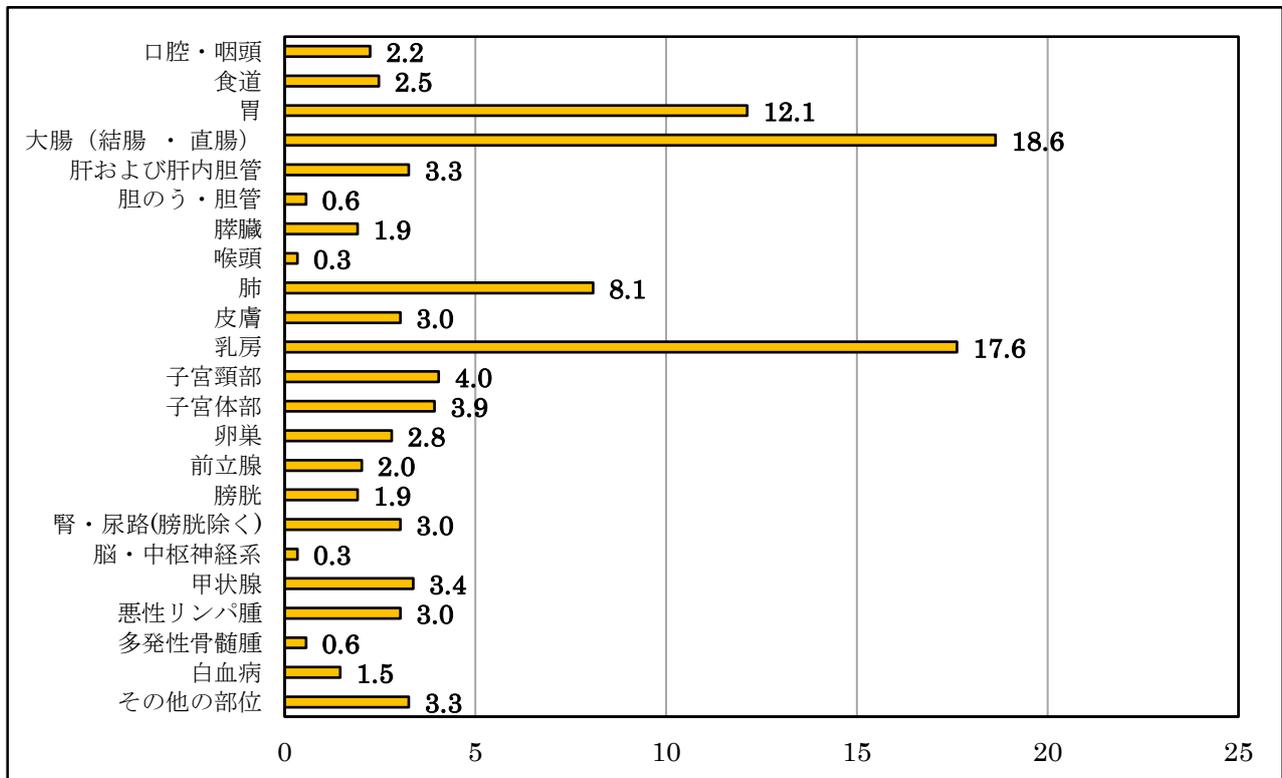


【60-69歳】

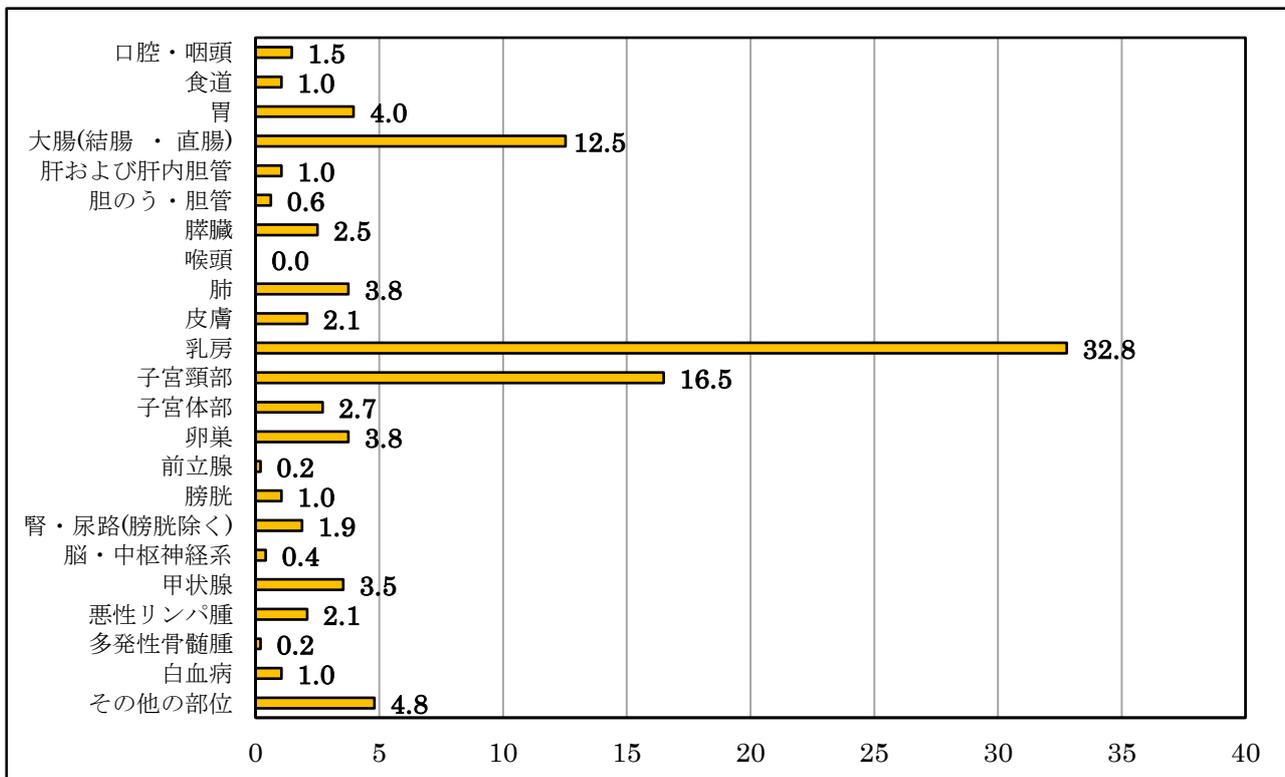


50代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順に高く、40代では乳がん、子宮頸部がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高くなっている。

【50-59 歳】

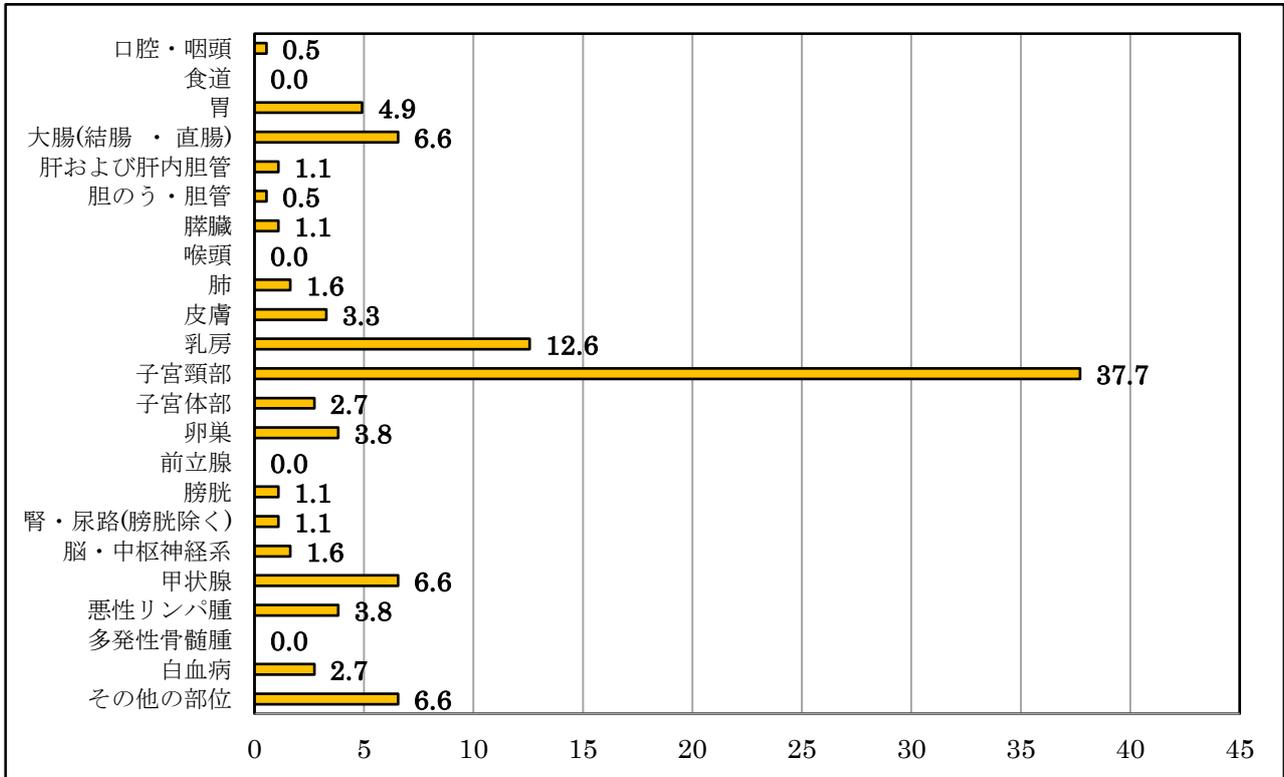


【40-49 歳】



30代と20代以下では、子宮頸部がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がんが、20代以下では甲状腺がんが子宮頸部がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



【0-29歳】

